

3 こども家庭センター

町長：妊娠から子育て、就学までがちゃんとつながった感じがしますよね。人口は減りつつありますが、若い世代や子どもはまだ多いです。だから、子育ての不安をどうやって減らすかが大きな課題ですね。

安心して相談ができることも家庭センターの役割は大きいと思っています。

議長：保健センター、すごく明るくなりましたよね。若い世代が入りやすい雰囲気になったと感じました。親が安心して話せる場所があるのはいいですね。ボールプールが人気って聞きましたし、常設できるような仕組みも考えてほしいと思います。

町長：あれは職員が自分たちで工夫して作ったんですよ。主体的に動いてくれたことが、本当にうれしいです。職員が元気じゃないと町も元気になりませんしね。

議長：町民にも職員にも意義のある取り組みだったと思います。今の子育て世代って情報が多すぎて、何が正しいか分からなくなりやすいですね。だからこそ、直接悩みを聞ける場所であり続けてほしいです。

4 阿久比スポーツ村

町長：自然環境に恵まれたスポーツ施設を町が持っているということは大きな強みだと思うので、引き続き有効に活用していきたいです。陸上競技場はアジア競技大会の練習場として使ってもらえるように、国際大会仕様の天然芝を整備しています。世界中の選手が来れることで町の名前も知ってもらえますし、「世界で活躍する選手と同じ競技場で練習した」という経験が、子どもたちにとって将来まで残る誇りや“レガシー”にもなります。

今後はトラックの整備も進め、サッカーや陸上など多くの競技に使える多目的な施設へと育てていきたいです。野球場も、かつてのようにプロチームが関わる場所にできたらと思っています。トップ選手を間近で見る体験は、子どもたちの挑戦する気持ちを大きく後押ししてくれるはずですよ。

議長：本当にいい場所なんですけど、課題もありますよね。散歩や軽い運動ができる“健康の場”としても、より多くの町民が利用できる環境づくりを進めてほしいと思っています。交流センターには通年利用できる温水プールもあり、スポーツだけでなく日常的な健康づくりの拠点にもなるはずです。

また、自然とふれあえる場所としての魅力も高めてほしいですね。夏にはカブトムシを捕りに来る子どもが多いと聞きますし、季節ごとの自然体験ができる場として整備してもらえればうれしいですね。スポーツ村が「子どもの頃から親しんだ場所」として町民の思い出に残り、世代を超えて集える憩いの空間になってほしいと思っています。

5 今年の抱負を一言で

町長：「午年らしく、ぐっと前へ“駆けていく”一年に」午年にあやかって、今年もスピード感を意識していきたいですね。阿久比町の未来に向け、ためらわず前へ踏み出す一年にしていきたいです。

議長：「午年の勢いを胸に、開かれた議会へと跳躍する」ICTを活用して多様な意見を集め、議会改革をより一歩前に進めたいです。議会と町政がしっかり連携し、誰もが参加しやすい“ひらかれたまちづくり”へと大きく跳躍する一年にしたいですね。



こども家庭センター

すべての妊産婦・子育て家庭・子どもを対象に相談支援を行う機関が、令和7年4月にオープンしました。ボールプールもあり、子どもを遊ばせながら、ゆったりと相談できます。



阿久比スポーツ村

陸上競技場では現在、トラック改修と天然芝の張替工事を進めています。今年はアジア競技大会の練習場として使用される予定です。どうぞご期待ください。



田中 清高 町長